

令和7年度 0歳児 年間指導計画 南保育園

令和7年度　0歳児　年間指導計画　南保育園				園 長		副 園 長		担 任	
年間目標	●落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし、情緒の安定を図るとともに、一人ひとりの豊かな個性の発達と保育者との信頼・愛着関係、仲間関係の基礎を育てる。 ●個人差に留意しながら離乳の完了や歩行、発語への意欲を育む。 ●衛生的で安全な環境の中で伸び伸びと遊び、さまざまな経験を通して感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事への興味・関心をもてるようにする。			健 康 安 全 災 害	●視診・触診・検温は毎日行い、健康的に過ごすために感染症の早期発見、予防に努める。 ●施設内の環境整備を行う。 ●危機管理マニュアルの確認 ●乳幼児突然死症候群の予防		一年間の保育に対する自己評価		
期	1期（4月～5月）		2期（6月～8月）		3期（9月～12月）			4期（1月～3月）	
ねらい	●一人一人の生活リズムを大切にし、保護者と連携しながら園生活に慣れ、安心して過ごす。 ●保育者とのふれあい遊びや、やりとりを楽しみながら、信頼関係を築いていく。		●快適に過ごせるよう、保健衛生面に配慮しながら、一人一人の体調を把握し、沐浴・水遊びを行う。 ●欲求を満たしてもらい、受容される喜びを感じる。		●気候に応じた戸外遊びや散歩を取り入れ、自然に触れて遊んだり、全身を使って遊んだりしながら体を動かす楽しさを感じる。 ●保育者とのかわりの中で、喃語や一語文を発することを楽しむ。			●安定した環境の中で探索行動を通して、いろいろな人や物にかわりながら、好きな遊びを楽しむ。 ●保育者や他園児と同じことをしたり、一緒にいることを喜ぶ。 ●新年度のクラスの生活リズムに、スムーズに移行できるようにする。	
月齢・年齢	3か月～6か月未満		6か月～9か月未満		9か月～12か月未満		1歳～1歳3か月未満		1歳3か月～2歳未満
子どもの姿			●離乳食を食べ始める。（初期食、一回食、ゴックン） ●舌と上あごで食べ物をつぶすことができるようになり、中期食、二回食になる。 ●人見知りをするようになり、はいはいが、ずりばいから四つばいになる。 ●自由に寝返りをし、腹這いで前後に進むようになる。 ●機嫌が良い時は声を出して遊んだり、あやされる声に応じたりする。		●ずりばい、四つ這いなどで移動する。 ●言葉をまねたような声を出したり、指さしをしたりするなど意志を伝えようとする姿が活発になる。 ●食べることに意欲的になり、手づかみで食べるようになる。（後期食） ●つかまり立ちや伝い歩きなど歩行への意欲と活動が活発になる。		●スプーンやコップを使おうとする。歯茎や乳歯を使って噛んで食べる。（幼児食） ●つたい歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲や興味の幅が広がる。 ●リズムのよい簡単な歌や手遊び、保育者とのふれあいや遊びを楽しむ。 ●つまむ・引っ張るなど、手や指を使うようになる。 ●戸外に行くことを喜び、虫や植物に興味を示す。		●一人歩きが安定し、小走りで歩いたり、段差のあるところを歩いたり、跳び下りるなど、上下の運動に挑戦する。 ●手の細かいコントロールが進み、積み木を積んだり、なぐり描きが点から曲線を描いたりするようになる。 ●他の園児への関心を示し、持っているものを欲しがったり触ろうとしたりする。 ●言葉が増え、二語文を話す。

養護 (生命の保持・ 情緒の安定)		<p>■一人ひとりの発達状態に合わせて、離乳食の開始や内容を検討する。</p> <p>■睡眠リズムの変化に対応して、活動時間や内容を調整する。</p>	<p>■子どものさまざまな欲求にこたえ、安心して生活を送れるようにする。</p> <p>■特定の大人と愛着関係を築いたうえで好奇心を満たしていく。</p>	<p>■安心感や満足感の中で保育者や他児とかかわることを楽しめるようにする。</p> <p>■食後は手や口元をおしぼりで拭いたり、口の中に食べ物が残らないよう水分を摂るようにしたりする。</p>	<p>■保育者に受け止めてもらうことで言葉を話す楽しさを感じ、気持ちを表現できるようにする。</p> <p>■けがや事故のないようにそばで見守り、自分でやってみたいという気持ちを尊重する。</p>
教育 (三つの視点)		<p>★保育者と目が合い、あやされると機嫌よく過ごす。</p> <p>★おむつをこまめに交換し、快適に気持ちよく過ごせるようにする。</p> <p>★動く玩具を目で追ったり、手を伸ばしたりする。</p>	<p>★園での食事に慣れ、落ち着いて食事をとる。</p> <p>★保育者の語りかけに、喃語で反応するなどのやりとりを楽しむ。</p> <p>★天気の良い日は戸外に出て、のびのびと過ごす。</p>	<p>★歩行ができるようになり、保育者に見守られながら、安心して探索活動を楽しむ。</p> <p>★少しずつ友だちに興味を持ち、関わろうとする。</p> <p>★スプーンやコップなどに興味を持ち、自分なりに使ってみようとする。</p>	<p>★指差しや片言、ジェスチャーで気持ちを表し、伝えようとする。</p> <p>★身体を動かす遊びに興味を持ち、保育者や友だちと触れ合い遊びを楽しむ。</p> <p>★衣服の着脱に意識が向き、自分でしようとする意欲がでる。</p>
教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)		<p>★保育者に抱かれ、安心して語りかけてもらいながらミルクを飲む。</p>	<p>★保育者の受容的な温かい関わりの中で、言葉や身近なものに興味を持ち、指差しやジェスチャーで気持ちを通わせ、やりとりを楽しむ。</p>	<p>★指先を使った細かい動きを楽しむ。</p> <p>★特定の保育士と喃語や言葉のやりとりを楽しむ。</p>	<p>★周りの人を意識し、かかわろうとする意欲が出る。</p> <p>★衣服の着脱に意識が向き、自分でしようとする意欲が出る。</p>
環境構成 援助 配慮		<p>■寝返りの妨げとなるようなものを取り除き、自由に身体を動かせるスペースをとる。</p> <p>★声をかけたり、ふれあったりしてあやすことで子どもの反応を引き出す。</p>	<p>■興味や発達に合わせて子どもの好奇心や探索行動が満たせるように環境を整える。</p> <p>★保育者に欲求を訴えていたときに、すぐ対応できるようにそばで見守る。</p>	<p>■のびのびと身体を動かせるように広いスペースをとる。</p> <p>★体調を崩すことがないように、体調面を配慮しながら活動場所、活動時間を決める。</p>	<p>■1人遊びでも他児の遊びが視界に入るように同じ空間で行う。</p> <p>★子どもの気持ちを言葉にして返したり、共感したりすることで言葉の発語を促していく。</p>

月 齢 ・ 年 齢	3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 9 か 月 未 満	9 か 月 ～ 1 2 か 月 未 満	1 歳 ～ 1 歳 3 か 月 未 満	1 歳 3 か 月 ～ 2 歳 未 満
子育て支援 (保護者支援)		●離乳食の進みを保護者から聞き、園での食事状況を伝えながら、家庭と同じ援助ができるようにするとともに、進められるようにする。	●盛んに動き始めると、家庭でも事故につながる危険な物が多くあることや子どもにとっての安全な環境について保護者に伝える。	●自我の芽生えは1つの大切な成長であることを伝え、些細な悩みでも受け止め、相談にのるようにする。	●悩みがないか保護者の様子を見る。自分でできた満足感が意欲につながることを伝え、自ら取り組めるようなかわり方をする。
食育		●「食を営む力」の育成 食べることを楽しみ、食事を 楽しみあう子どもに成長して いくことを目指す。 ●アレルギーのある子どもに は、除去食や代用食で対応する。 ■一人ひとりの離乳食の状況に 合わせて、内容を検討したり、 家庭とともに進めたりする。	<div>_____</div> ■一人ひとりに合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験させるようにする。 ●衛生面に配慮しながら、手づかみ食べを認め、自分で食べようとする意欲を高める。	●スプーンやフォークの持ち方を丁寧に教え、徐々に使えるようにする。	●こぼしながらも、スプーンやフォークを使って食べるように言葉かけを行う。
長時間保育		心身の状態に注意深く配慮しながら家庭と連携していく	<div>_____</div>		<div>_____→</div>
期	1 期（4 月 ～ 5 月）	2 期（6 月 ～ 8 月）	3 期（9 月 ～ 1 2 月）	4 期（1 月 ～ 3 月）	
年齢別研修	テーマ「すこやかな育ち」 サブテーマ「保育の質の向上」 標準的な保育の実施方法について理解を深める。	<div>_____</div>		<div>_____→</div>	
自己評価					

令和7年度 1歳児 年間指導計画

南保育園

園長		副園長		担任	
----	--	-----	--	----	--

年間目標	◎保育者に思いや要求を受け止めてもらい、安心して過ごす。 ◎自分でしようとする思いや好奇心が芽生え、いろいろなことをやってみようとする。 ◎保育者や友達とのかかわりの中で、自分なりの言葉や仕草で伝える楽しさを味わう。		健康安全災害	一年間の保育に対する自己評価	
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や生活に戸惑い、登園時などに泣く姿が見られる。 ・園生活に徐々に慣れ、安心して食べたり、眠ったりする。 ・ハイハイ・歩く・上る・下りるなど、体を活発に動かし、行動範囲が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の生活に慣れ、安心して好きな遊びを繰り返す楽しむ。 ・衣服の着脱に興味を持ち、保育者の援助のもと、やってみようとする。 ・保育者と絵本を見ながら、簡単な言葉を真似したり、繰り返して言ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張が強くなり、身の周りのことを自分でやりたがる。 ・自分のものと友達のものの違いに気付く。 ・保育者や友達と一緒に歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで自分で食べようとする。 ・自分でやりたい気持ちが強くなって取り組むが、思うようにならずにかんしゃくを起こす。 ・身近なものに関心を持ち、保育者に質問したりやりとりしたりする。 	
ねらい	◎新しい環境に慣れ、特定の保育者との信頼関係の下、安心して過ごす。 ◎戸外でのびのびと遊び、開放感を味わう。 ◎好きな遊びを見つけて楽しむ。	◎全身を使って水遊びや夏ならではの遊びを楽しむ。 ◎衣服の着脱を自分でしてみようとする。 ◎いろいろな素材の感触を味わう。	◎身の周りのことに興味を持ち、やってみようとする。 ◎戸外で全身を使う遊びを楽しむ。 ◎保育者や友達とやり取りする楽しさを味わう。	◎保育者に手伝ってもらいながら、身の周りのことを自分で行い、達成感を味わう。 ◎保育者や友達とやりとりしながら遊ぶ楽しさを味わう。	
養護 (生命の保持・情緒の安定)	□新しい環境や保育者に慣れ親しみ、気持ちを受け止めてもらい、安心して過ごす。 □安全な環境の下、心地よく過ごす。 □オムツ交換や手洗いを通して、気持ちよさを知る。	□十分な水分補給や休息を取り、夏の季節を健康に過ごす。 □保育者との安定したかかわりの中で、安心して思いや要求を示す。	□自分でしようとする気持ちを大切に、達成感を味わう。 □自己主張したりぶつかり合いが発生したりする時は、保育士等に気持ちを受容、共感してもらい安心する。	□身の回りのことを自分でするという気持ちを持ち、出来たことを保育士等と一緒に喜ぶ。 □子ども同士のかかわりにおいて、保育士等の仲立ちを通して、相手に思いがあることに気づく。	
教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	○戸外で全身を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○保育者に見守られながら、自分の好きな遊びを楽しむ。 ○園庭のいろいろなものに興味を持ち、探索活動を楽しむ。 ○保育者と一緒に絵本を見て楽しむ。	○保育者に手伝ってもらいながら、衣服の着脱を自分でしてみようとする。 ○友達に興味を持ち、同じ空間で同じ遊びをしようとする。 ○梅雨時期の自然物に興味を持ち、見たり、触れたりする。 ○保育者と一緒に、水や砂・泥などの夏ならではの遊びを楽しむ。	○身の周りのことに興味を持ち、自分でできることをやってみようとする。 ○走る・歩く・跳ぶ・上る・投げるなどの全身を使った遊びを楽しむ。 ○生活の中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 ○自分なりのイメージを膨らませて、見立て遊びを楽しむ。	○食事や着脱など、保育者に手伝ってもらいながら行うことで、達成感や満足感を味わう。 ○保育者に仲立ちしてもらいながら、友達とごっこ遊びを楽しむ。 ○自分がしたいことや、してほしいことを自分なりの言葉で相手に伝えようとする。 ○冬ならではの自然に触れて、音や感触、冷たさなどを感じる。	
環境構成 援助 配慮	●安全点検や衛生管理チェックを通して、保育室や園庭の安全を確認し、安全に過ごせるよう環境を整える。 ●一人一人の発達や生活リズムを把握し、少しずつ新しい環境に慣れるようにする。 ●のびのびと体を動かせる環境や機会を設け、開放感が味わえるようにする。 ●子どもの興味や発達に合った玩具を用意し、一緒に遊ぶことで信頼関係を築いていく。 ●春の自然物と一緒に見つけたり触れたりして、探索がより楽しめるようにする。 ●興味のある絵本を用意し、子どもの指差しなどに反応し、楽しみながら絵や言葉に親しめるようにする。	●夏の疲れに留意し、水分補給や休息の時間をこまめに取り、健康に過ごせるようにする。 ●着脱しやすいよう衣服を設置し、さりげなく援助をしながら、やろうとする姿を認める。 ●友達に興味を持つ姿に寄り添い、同じ遊びをする楽しさが味わえるようにかかわって遊ぶ。 ●季節の紙芝居を見たり、歌を歌ったりして、自然物に興味を持てるようにする。 ●水遊びマニュアルを遵守し、職員間で声をかけ合いながら、安全に水遊びを行う。 ●感触遊びが楽しめるように、安全な環境を整えながら、その機会を設ける。	●子どものやってみたい気持ちを尊重し、状況に合わせて見守ったりさりげなく援助したりする。 ●室内外で体を動かせる機会を作り、保育者も一緒にやることで動かす楽しさを共有していく。 ●子どもの気持ちを代弁したり、指差しに反応したりして、言葉でのやりとりが楽しめるようにする。 ●それぞれのイメージを大切にしながら、見立て遊びを一緒に行い、よりイメージを膨らませて楽しめるようにする。	●身の周りのことを自分でやろうとする姿を認め、できた時には大いに褒めて達成感や満足感が味わえるようにする。 ●見立て遊びやごっこ遊びができるような玩具を十分な数用意し、楽しめるようにする。 ●友達とかかわろうとする様子を見守り、仲介しながら友達とかかわる楽しさを感じられるようにする。 ●子どもなりの言葉や指差しに代弁したり、要求に応えたりして伝わる喜びが持てるようにする。 ●冬の自然に親しめるような絵本を呼んだり、歌を歌ったりする。また、霜や雪などを共に見つけて冷たさなどを共有する。	

期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）	3 期（9 月～12 月）	4 期（1 月～3 月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ●コドモンの連絡帳や送迎時の会話で日々の様子を丁寧に伝え、不安や疑問が解消するように、保護者との信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●疲れが出たり感染症に罹患したりしやすい時期のため、子どもの様子について保護者との連絡を密に取っていく。 ●あせもや水いぼなど、夏に多い皮膚疾患について情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝夕の気温差が出てくるため、子どもが自分で着脱しやすい衣服を用意してもらう。 ●動きが活発になってくるので子どもの足に合った靴の選び方のポイントを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの1年間の成長を保護者に伝え、共に喜ぶ。 ●進級に向けての説明を丁寧に言い、安心して新年度が迎えられるようにする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた雰囲気の中で、安心して食事をする。 ○保育者に援助されながら、手づかみやスプーン食べようとする。 ○食事前後の挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークを使って食べようとする。 ○いろいろな食材に興味を持ち、食べることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークを使って自分で食べる喜びを味わう。 ○苦手な食材でも少しずつ食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で食べようとする意欲を大切にし、必要に応じて援助を行ったり、こぼさずに食べられるようになる。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な環境の下で、遅番保育担当者と安心して触れ合う。 ○異年齢児交流を図りながら、家庭的なゆったりとした時間を過ごす。 ○あたたかな環境の下、くつろいだ雰囲気の中で、不安や寂しさを受け止めながら遊びに集中できる環境を作る。 			
年齢別研修				
自己評価				

令和5年度 2歳児 年間指導計画

南保育園

		園長		副園長		担任	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でい、できた喜びを感じる。 ・友達との関わりの中で、一緒に行動したり同じ遊びを楽しんだりする。 ・生活の中で身の回りの物や数、形、色が分かり、言葉を使って伝えたり、言葉のやり取りを楽しんだりする。 	健康 安全 災害	<ul style="list-style-type: none"> ○受け入れ時や受け入れ後の十分な視診。 ○施設内外の環境整備、安全点検を行う。 ○危機管理マニュアルの確認。 ○避難訓練により地震や火事などを想定した避難方法を身につける。 		一年間の保育に対する自己評価		
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）		3期（9月～12月）		4期（1月～3月）	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に不安な様子があるが、保育者との信頼関係が出来ると安心して生活ができるようになる。 ・保育者に見守られながら、好きな遊びを見つけ楽しんで遊ぶ。 ・身の回りのことを自分でしようとするが甘えの要求も強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きが安定し、探索し、活発に動き回る。 ・友達と関わって遊ぼうとするが、自己主張が強くなり、ぶつかり合いが起こることも多くなる。 ・生活リズムが安定し、保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりが楽しくなり、一緒に過ごすことができる。 ・一人でできることが増え、活動に意欲的に取り組もうとする。 ・絵本や紙芝居を ・語彙数が増し、言葉のやりとりが盛んになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとの関わりが深まり、一緒に行動し同じ遊びをすることを楽しむ。 ・基本的生活習慣がほぼ完成する。 ・生活に必要な言葉がわかり、自分の欲求や意思を言葉で伝えることができる。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ安定感を持って過ごす。 ・保育者の手助けを通して身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育てる。 ・好きな遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・戸外でからだを動かして遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でやってみようとする。 ・友達と言葉のやりとりをしながら、一緒に遊ぶ楽しさを知る。 ・夏ならではの遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを少しずつ自分でする。 ・保育者を仲立ちにしながら、友達との遊びを広げていく。 ・基本的生活習慣を身につける。 ・保育者や友達と一緒に戸外で全身を使った遊びや、自然に触れて遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分でしようとする気持ちを受け止めてもらい、簡単な身の回りのことを自分でする。 ・基本的生活習慣の自立を図る。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かり、自分の思いを言ったり聞いたりして簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ・進級に期待をもち、意欲的に生活しようとする。 	
養護 (生命の保持・情緒の安定)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり丁寧に関わり、それぞれの思いに寄り添って受け止めることで、信頼関係を築けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水分や休息を十分に取健康に過ごす。 ・自分でやりたい思いを大切に、手助けが必要な時は援助していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に応じた生活を送り、健康で快適に過ごす。 ・生活の流れが分かり、自分から行動する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の自立に向け、一人ひとりの姿に合わせて援助し、自分でできた喜びを感じるよう援助する。 	

<p>教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活の流れを知り、身の回りのことを保育者と一緒にやってみようとする。 ・名前を呼ばれると返事をする。 ・保育者に誘われてトイレに行ってみる。 ・戸外遊びを楽しみ、春の自然に触れる。 ・手遊びや体操、歌を保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・固定遊具の使い方を知り、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・新しい場所での午睡に慣れ、十分に眠る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びを楽しみながら、気の合う友達と一緒に過ごす心地よさを感じる。 ・保育者に見守られトイレでの排泄に慣れる。オムツからパンツに移行していく。 ・友達の名前に興味を持ち、名前を呼び合い一緒に遊ぶ。 ・保育者友達と絵本や紙芝居を楽しみ、言葉の繰り返しや模倣をして遊ぶ。 ・夏ならではの遊びを通して全身を動かして遊び、解放感を味わう。 ・様々な素材の感触を楽しんだり、素材を使って作ったりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の生活に必要な決まりが分かり、待ったり、譲ったりしようとする。 ・尿意を感じ、自分からトイレに向かったり、保育者に声を掛けたりする。 ・友達とおしゃべりを楽しむ。 ・簡単なルールのある遊びに興味を持ち、友達や保育者と一緒に楽しむ。 ・保育者に受け止めてもらい、自分の気持ちをいろいろな言葉で伝えようとする。 ・秋の自然に触れ、草花、虫などの色や形に興味を持つ。 ・ひも通しや洗濯ばさみなど指先を使った遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びを通してルールや決まりがあることを知り、それを守ろうとする。 ・パンツで過ごし、トイレの使い方がわかり、自分で排泄する。 ・生活に必要な簡単な言葉を理解し、様々な出来事に関心を示し言葉で表す。 ・簡単なごっこ遊びをする中で、保育者や友達と言葉のやりとりをする。 ・身の回りの形や色、数に関心を持つ。 ・切る、丸める、貼るなどの造形遊びをする。
<p>環境構成 援助 配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築く。 ・好きな遊びを楽しめるよう、子どもの興味に応じて、遊具や用具を準備する。 ・生活習慣は個人差を踏まえて、細やかに対応する。 ・正しい遊具の使い方を知らせ、安全に遊べるように見守る。 ・戸外でのびのびと安全に遊べるように保育者間で連携して見守っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にす。また、必要に応じて援助を行い意欲を高められるようにする。 ・外気の温度に留意し、適切な室温・湿度を保ち、こまめに水分補給を促す。 ・戸外遊びは時間帯や場所に留意し、暑さ対策を行う。 ・水遊びは健康状態に留意し、安全面に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でしようとする気持ちを大切にし、頑張り認め、励ましたり、誉めたりし、自分でできる喜びや楽しさを味わえるようにする。 ・日常的に起こりうる子ども同士のトラブルに丁寧に関わる。 ・全身を使った遊びができるよう、安全な環境を整える。 ・探索活動が盛んになるので安全に留意して、十分に活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外気との温度差が大きいいため、衣服調節に留意し、手洗いやうがいを励行する。 ・身の回りのことに意欲的に取り組む姿を褒め、自信を持って進級できるようにする。 ・友だちとの関わりが深まってくる反面トラブルも多くなるので、保育者は見守りながら子どもの話によく耳を傾ける。

期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
<p>子育て支援 (保護者支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に安心してもらえるよう送迎時や連絡帳を通して園での様子や家庭での様子を共有していく。 ・健康記録や送迎時の聞き取りにより子 	<ul style="list-style-type: none"> ・園での子どもの生活や健康状態について、家庭と密接な関係が作れるように体制を整えておく。 ・体調や気候に合わせた調節しやすい衣服 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や個人懇談に参加してもらうことで、園での生活の様子を知ってもらい、家庭での生活の様子や困っていること等を聞いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三歳児の生活の様子を伝えたり、進級への不安を聞いたりして丁寧に向き合う。 ・進級することを保護者と共に喜び、今

	<p>どもの健康状態を把握し、連携を密にしていく。</p>	<p>について共有できるように働きかける。</p>	<p>・保護者の思いを受け止め、気持ちに寄り添う関わりを持っていく。</p>	<p>後の成長に希望が持てるよう支援する。</p>
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンなどを使い、楽しく食事をする。 ・楽しい雰囲気の中で、食べ物に興味を持ち、自分で食べようとする。 ・食事の前後の挨拶をする。 ・一人ひとりの食事の状態を把握し、言葉かけたり、援助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークの正しい持ち方を知らせる。 ・給食前の準備で、見通しを持ち進んで手を洗ったりタオルで拭いたりする。 ・食前、食後の挨拶を通して、食べることや完食したことに喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークを下から握り、自分で食べようとする。 ・食べ物に関心を持ち、自分から進んで食べようとする。 ・友だちが食べている姿を励みに、苦手な食べ物にも挑戦しようとする。 ・器を持って食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に必要な基本的な習慣やマナーに関心を持ち、意識する。 ・完食することを喜び、誉められることで更に食事に対して意欲的になる。 ・友達と一緒に食べることを楽しむ。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な環境の下で、担当保育者と安心して触れ合う。 			→
	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児交流を図りながら、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとした時間を過ごす。 			→
	<p>※けんかや怪我に気を付ける。</p>			→
	<p>異年齢児間で、大きい子が小さい子に対して思いやりの気持ちを持ち、また、小さい子が大きい子に憧れの気持ちが持てるような様々な遊びを行い、優しい言葉掛け等に留意していく。</p>			→
年齢別研修	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「すこやかな育ち」 ・サブ「保育の質の向上」 ・内容「子供を尊重する保育」のために ・設定理由：保育士による不適切な保育がニュースで取り上げられている。私たちも自らの保育を振り返り、不適切な保育を未然に防ぐため 			→
	<p>「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について更に意識を高め、行動していくことが大切である。</p>			→

自己評価				
------	--	--	--	--

令和7年度 3歳児 年間指導計画 南保育園

		園長		副園長		担任	
年間目標	○必要な生活習慣を身につけ、自ら意欲的に行動しようとする。 ○自然、社会などの身近な環境にふれ、発見をしたり、考えたりする中で様々な経験を重ね、好奇心、探求心を高める。 ○遊びの中で友だちと一緒に活動する楽しさに共感し、工夫、協力するなどして関わりを深める。	健康安全災害	○受け入れ時、受け入れ後の十分な視診を行う。 ○毎日の清掃や消毒、園内外の安全点検を行う。 ○避難訓練、交通訓練により避難方法や歩行通行時のルールを身に付ける。		一年間の保育に対する自己評価		
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）		3期（9月～12月）		4期（1月～3月）	
子どもの姿	○進級したことに喜びを感じ元気に過ごす姿と、新しい環境にとまどい落ち着かない姿がみられる。 ○保育園生活の流れやリズムに次第に慣れていき、保育者と一緒に身の回りのことをしようとする。自分から好きな遊びを見つけて遊ぶ。	○保育園生活に慣れ、できることは自分で行う。 ○友だちとの関わりを楽しむが自己主張が多くなり友だちとのぶつかり合いが増える。		○友達と一緒に遊ぶことを喜び、様々な遊び、活動を楽しむ。自分の思いを表現する喜びを感じられるようになる。 ○身の回りの始末を自分で行うがまだ個人差が大きい。 ○保育者や友だちと体をダイナミックに動かし、表現遊びを楽しむようになる。		○安定した気持ちで園生活を送り、仲の良い友だちと遊ぶことを楽しむ。 ○基本的な生活習慣が身につく、1日の流れを理解して過ごす姿がみられる。 ○進級することに期待感をもち、新しい生活に期待し、はりきって過ごす。	
ねらい	○園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。 ○保育士や友だちに親しみ、安定した気持ちの中で好きな遊びを楽しむ。 ○戸外で遊ぶ中で虫や草花などの自然物にふれ、不思議さ、おもしろさを感じる。	○保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でできるようにする。 ○夏ならではの水遊びを通して開放感や感触を十分に味わう。 ○夏に見られる植物、生き物を観察したり、育てたりする中で関心をもち、関わろうとする。		○伸び伸びと体を動かして遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒に生活することを楽しみ、話したり聞いたり、会話を楽しんだりする。 ○友だちと一緒に活動する楽しさを味わう。		○基本的な生活習慣が身に付き、自信を持って生活する。 ○友だちと遊んだり、話したりすることを楽しむ。	
養護 （生命の保持・ 情緒の安定）	・園内外の危険や安全についての約束事を伝え、安全に生活できるようにする。 ・子ども達が安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちを受け止め、優しく丁寧に対応する。	・水分補給や休息、衣服の調節をして快適に過ごせるようにする。 ・生活リズムや心身の状態を確認し、健康や安全に配慮しながら夏の遊びを楽しめるようにする。		・運動量が増えるので、休養を十分にとり、体調を崩したり怪我が起きないように配慮する。 ・一人ひとりの頑張りを見逃さず、成長を認めながら意欲につなげていく。		・手洗いうがいをしっかり行い、換気や清掃で感染予防に努める。 ・1年間の子どもの成長を認めることで、自信を持って進級できるようにする。	
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・基本的な生活の仕方を知り、簡単な身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。 ・クラスの友達や保育者と遊び、親しみを持つ。 ・戸外で体を動かして遊び心地よさを感じる。 ・自分の気持ちを言葉で伝えようとする。 ・保育者と絵本を見たり、歌や手遊びを楽しむ。	・生活の流れが分かり、できることは自分で行う。 ・友達と遊ぶ中で、自分の思いを表現したり相手の気持ちを知ったりする。 ・水遊びや泥遊び等、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。		・友達や保育者と走ったり思い切り体を動かしたりする心地よさを楽しむ。 ・遊びの中で友達とのやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を知っていく。 ・友達や保育者とごっこあそびや表現遊びを楽しむ。		・生活の流れに見通しを持って身の回りのことを自分からしようとする。 ・自分の感じたこと思ったことを言葉で伝えたり、相手の話を聞こうとする。 ・友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ。	
環境構成 援助 配慮	・生活の仕方は一人ひとりに応じて援助していき、自分で行う気持ちを育てる。 ・一人ひとりを温かく受け入れ安心感を持てるようにする。 ・園庭の危険箇所を把握し、正しい遊具の使い方方を知らせ、安全に遊べるように見守る。	・自分でやろうとする意欲を大事に、出来た嬉しさを感じられるようにしていく。 ・子どもの言葉や表情から思いを受け止め共感しながら関わっていく。 ・水遊びや泥遊びなど、季節ならではの遊びを楽しめるように玩具などを準備する。		・全身を使った遊びが繰り返し楽しめるよう遊具や用具など環境を工夫していく。 ・子ども達の様子や思いをくみ取り、必要に応じた援助をする。 ・いろいろな行事などに、無理なく参加できるような取り組み方を工夫する。		・室温や湿度への対応をするなど安全、健康な環境に留意する。 ・個々の成長を認め、自信へとつなげ、進級への期待や喜びが持てるようにする。 ・子どもの興味に合わせ、環境や遊具を整え、友達との遊びが深まるようにしていく。	

期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちを受け止め、子育ての喜びや悩みを共有し、信頼関係を築いていく。 ・保護者に安心してもらえるよう、園での生活を話したり、家庭の様子を聞いたりする。 ・健康記録や送迎時の聞き取りにより子どもの健康状態を把握し、連携を密にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中で、自分の力で頑張っている姿を具体的に伝えていく。 ・一人一人の健康状態を水遊びカードや口頭で伝えあい、家庭と連携していく。 ・体の清潔や、着脱しやすい衣服の準備など、夏の健康に関して情報提供していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会では、自分のクラスや他の年齢の発表を見ることで、子どもたちの成長した様子を感じてもらう。 ・寒さに向けての健康管理の大切さや、生活習慣などをお便りなどで家庭に呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの健康状態を、送迎時に伝えあい、家庭との連携を密にしていく。 ・1年間を振り返り、子どもの成長を保護者とともに喜び合う。 ・生活が不規則な家庭には、進級に向けて再度生活リズムの見直しをお願いする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・給食やおやつを保育者と一緒に楽しく食べる。 ・スプーンを3本の指で持てるよう伝え、楽しく食事が出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑の苗の様子を見たり、世話をすることで興味を持つ。 ・食事を楽しみながらマナーを知り、好きなものだけでなく苦手なものにも挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や運動量に合わせて食事の開始時間や量など時期に応じて調理員と連携を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動を通し、給食準備や挨拶など、自分たちで用意して食事をしようとする。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境の中で、一人ひとりが安心して過ごせるように状況に応じて配慮していく。 ・保育時間が長くなるので、個々の体調を見ながら、絵本・パズル・ブロックなどのゆったりと遊べるものを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日が続くと、室内での遊びが多くなるので、のびのびと活動できるよう、玩具や活動の内容を工夫していく。 ・室内の温度や湿度をエアコンなどで調節したり、水分補給を促したりして快適に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕と日中の気温差が大きい日もあるため、午後は一人ひとりの体調に合わせて過ごせるように環境を整えていく。 ・日が短くなって不安になる子どももいるので、気持ちに寄り添い安心できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋で過ごす時間が長くなるので、異年齢でも一緒に遊べるものやこの時間だけ遊べるゲームやパズルなどを用意する。 ・状況に合わせて、室温を調節し温かく過ごせるようにする。
年齢別研修				
自己評価				

2025 年度 4 歳児 年間指導計画 南保育園

				園 長		副 園 長		担 任	
年間目標	○園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身につける。 ○全身のバランスを取りながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに興味を持ち、保育士や友だちとの関わりを広げる。 ○身近な社会や自然の事象に興味や関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。 ○遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する。 ○豊かな経験を通して、生活に必要な言葉を身につける。			健康 安全 災害	○健康、安全に必要な習慣や態度を身につけ、理解を深める。		一年間の保育に対する自己評価		
期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）			3 期（9 月～12 月）			4 期（1 月～3 月）	
子どもの姿	○進級に喜びを感じている子、不安を抱えている子がいる。 ○衣服の着脱、食事、排泄など身の回りのことの必要性がわかり自分でしようとする。 ○好きな場所や遊びを見つけ、友だちと関わる姿が見られる。 ○思い切り体を動かし、保育士や友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。	○園生活に慣れ、見通しを持って身の回りのことを自分でしようとするが、援助が必要な子もいる。 ○生活範囲が広がり、活発に活動するようになる。さらに新しい事象への関心が高まりチャレンジする。 ○周囲の子への関心が出てきて、新しい関わりが生まれたり、同じ場所で遊ぶことを喜んだりする。 ○開放的な遊びを通して、友だちとの関わりが広がる。			○全身運動が活発になり、友だちと関わりながら体を動かす楽しさも味わえるようになる。 ○友だちとの遊びを通して生活の決まりや遊びのルールの大切さに気づく。 ○周囲の人や物への興味や関心が強くなり、自分もやってみようとする意欲や気持ちが見られる。 ○自分の思いや感じたことを自分なりに表現する。			○全身運動が活発になり、友だちと関わりながら体を動かす楽しさを味わえるようになる。 ○友だちとの遊びを通して生活の決まりや遊びのルールの大切さに気づく。 ○周囲の人や物への興味や関心が強くなり、自分もやってみようとする意欲や気持ちが見られる。 ○自分の思いや感じたことを言葉で表現する。	
ねらい	○園生活に慣れ、保育士に親しみを感じて安心して過ごす。 ○生活の仕方がわかり、できることは自分でしようとする。 ○自分でやりたい遊びを見つけて自分から遊ぶ楽しさを味わう。 ○戸外で身近な自然に触れながら気持ち良く過ごす。	○戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○友だちとのふれあいの中で一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○思ったことや考えたことなどを表現する中で、様々な素材や用具の扱いを知る。 ○身近な自然に触れて、季節感のある遊びを十分に楽しむ。 ○梅雨時や夏の生活の仕方を知り、健康に過ごす。			○様々な運動遊びを喜んで行い、全身の動きを楽しむ。 ○共通の目標に向かって力を合わせ、達成する喜びを味わう。 ○仲間の中の一人という自覚を持ち、一つのことに取り組む楽しさや感動を共有する。 ○身近な自然とふれあい、興味を持って見たり触れたりすることを楽しむ。			○いろいろな遊びに興味を持ち、保育士や友だちと関わり、自分の力を発揮して活動に取り組む。 ○友だちと一緒に試したり工夫したりして遊びを進める楽しさを味わう。 ○自分でできることは自分で行い、生活する態度を身につける。 ○進級することへの期待を持つ。	
養護 （生命の保持・ 情緒の安定）	○保育士は一人ひとりの子どもを温かく受け止め、触れ合う中で安心感を与え、園生活の楽しさや園生活の仕方がわかるように丁寧に関わる。 ○生活の仕方の違いに配慮し、一人ひとりが安心して取り組めるようにする。	○一人ひとりの子どもを理解し、気持ちを受け止められた喜びが感じられるような働きかけをして、信頼感を深めていく。 ○適度に休息を取れるよう、活動の時間や流れ、環境の工夫をする。			○友だちとのつながりも強くなり、周りの様々なことに関心が高まる。他人の判断や行動と自分の考えとの相違に気づき、盛んに保育者に伝えてくる。丁寧に「聞く」ことを大切にし、伝えたことが安心感になるようにする。			○園生活を心地よく過ごすための態度が身についていくようにする。 ○一人ひとりの思いや自己表現のおもしろさ、楽しさが、その人らしさであるということが伝わるようなクラスの雰囲気づくりを行い、自信と自己肯定感がさらに育まれるようにしていく。	
教育 （健康・人間 関係・環境・言 葉・表現）	○食事・排泄・着脱などの基本的な園での生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ○保育者や友だちと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○園の遊具や用具に親しみ、安全な歩行や避難の仕方を知る。 ○保育者とのやり取りを楽しみ、親しみを持つ。 ○友だちと一緒に楽しみなながら食べる。 ○友だちと同じことをしたり、触れ合ったりして楽しむ。 ○日常生活に必要な挨拶をする。 ○して欲しいことや困ったことなどを保育士にいろいろな方法で伝えようとする。 ○絵本や紙芝居などの内容や物語に興味を持ち、楽しむ。 ○音楽やリズムに合わせて、動いたりやり取りをしたりする。 ○思い思いに描いたり、作ったりすることを楽しむ。	○伸び伸びと体を動かし、様々な遊びを楽しむ。 ○全身を使って水遊びを楽しむ。 ○遊具や用具の扱い方を知り、安全に使って遊ぶ。 ○雨が続く日や暑い日の生活の仕方を知る。 ○園生活の決まりに気づき、約束を守ろうとする。 ○簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ○友だちに親しみをもち、同じことをしたり、関わったりする。 ○身近な動植物を見たり、触ったり世話をしたりしながら興味関心を持つ。 ○日常生活や友だちとの遊びの中で必要な言葉の使い方に気づく。 ○歌や曲に合わせて楽器を使ったり、自由に動いたりして楽しむ。			○いろいろな遊具や用具を使い、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○戸外でルールのある遊びに喜んで参加し、友だちと体を動かすことを楽しむ。 ○みんなで使うものを大切にしたり、きまりの大切さに気づいたりし、友だちと楽しく生活する。 ○自然物など集めたり、数えたり、分けたり並べたりすることに関心を持つ。 ○園外での行動の仕方や約束を覚える。 ○絵本や童話などを喜んで見たり、聞いたり、ストーリーを再現したりして、いろいろな表現を楽しむ。 ○歌や合奏をみんなでする楽しさを味わう。音やリズムをみんなで合わせる楽しさを知る。			○自分の健康に関心を持ち、様々な食べ物を選んで食べる。 ○生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 ○簡単なルールを作り出し、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○園庭の危険な物や危険な個所を知り、安全に気をつける。 ○良いことと悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。 ○園行事などで自分の役割を持ち、友だちと一緒に楽しんで進める。 ○友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づく。 ○身近な物や遊具に興味を持って関わり、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○冬から春にかけての自然事象に興味や関心を持つ。 ○自分の思いや考えを、言葉で相手に伝えようとする。 ○保育士や友だちの話を聞くとうとする。 ○遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりして、それを使って友だちと遊ぶ。 ○進級することを楽しみにし、保育室の片づけをする。	
環境構成 援助 配慮	○室内外の環境を明るく清潔に整え、安全で快適に過ごせるようにする。 ○保育士は一人ひとりの子どもを温かく受け止め、心の動きを十分に察して共感し、励まして安心感を与えるようにする。 ○ありのままの姿を受け止め、丁寧に関わることで信頼関係を築き、安心して過ごせるようにしていく。 ○生活の仕方の違いに配慮し、基本的生活習慣が身	○子どもたちの体調に留意するとともに一人ひとりの様子を把握する。天候や気温に応じて、熱中症対策、水分補給、衣服調整など、子どもが自分から取り組めるようにする。 ○梅雨や夏ならではの季節を考え環境を構成するとともに、静と動のバランスを考え発散できるよう工夫する。 ○安心して自分の思いが伝えられるよう、ゆったりとした雰囲気をつくるようにする。			○季節や事象の変化にふれる機会を持つようにし、子どもの発想や感動を引き出し、豊かになるよう援助する。 ○約束を守ることに大切さに気づき、一緒に考えながら、できるだけ子どもたちで解決できるようにする。 ○保育士も子どもと一緒に体を動かし、運動遊びの楽しさを味わえるような日常の体験を重ねて運動会へつなげていく。			○子どもの健康状態を把握し、室温・湿度の調節や換気に留意する。 ○天気の良い日には戸外で遊び、室内にこもりがちにならないようにする。 ○年長児担任と連絡を取り合い、年長児からいろいろな当番の仕事の仕方を教えてもらいえる場や機会を設ける。 ○ごっこ遊びなどにじっくり取り組めるよう遊びの場を構成し、展開に応じて変化させていく。	

	<p>についていくようにする。</p> <p>○食の安全（食物アレルギー、安全な食材選び）への配慮や多様な食材、料理法を通して好き嫌いなく食べられるよう進めていく。</p>	<p>○保育士が仲立ちとなり、友だちとの接し方や遊びへの参加の仕方がわかるよう場面を捉えて援助する。</p>	<p>○友だちとの関わりが持てる場を工夫し、一緒に活動する喜びが味わえるようにする。子ども同士の模倣や認め合いを大切に、表現する意欲や創造性が育まれるようにする。</p>	
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
子育て支援 （保護者支援）	<p>○子どもたちの緊張と不安を十分に受け止めるとともに、安心して登園できるように保護者から家庭での様子を聞き、理解に努める。</p> <p>○送迎時の会話やクラスだよりなどを通して子どもの様子を細やかに伝え、園と家庭が交互に情報交換しながら子どもの成長を支えあうことができるように関係をつくる。</p>	<p>○保護者の不安や疑問には丁寧に対応し、家庭との信頼関係を築くようにする。</p> <p>○園での生活や遊びの様子を通して子どもの成長（変容）を相互理解し、ともに子育てをして信頼関係を深めていく。</p> <p>○保育参加の中で子どもたちの育ちを伝え、園の保育目標の理解を促していく。</p>	<p>○運動会などの園行事の意味や考え方を理解して参加してもらうために、具体的な内容や方法・過程について知らせる。</p>	<p>○子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、保育士と保護者とで成長の喜びを共有する。</p> <p>○子どもの成長を過程でもたくさん褒めてもらい、年長になることへの期待や自信につなげていけるようにする。</p>
食育	<p>○楽しい雰囲気の中で友だちや保育士と一緒に食事をする。</p> <p>○基本的な食事の仕方を知り、自分でしようとする。</p> <p>○苗植えや種まきについての話し合いをし、期待を持つ。</p> <p>○継続的に野菜の世話をし、愛情を感じながらよく観察する態度を養う。</p>	<p>○食事のマナーを身につけ、楽しんで食べる。</p> <p>○野菜の生長を観察し、育てる喜びや大切にしたい気持ちを持つ。</p>	<p>○体と食べ物との関係について興味や関心を持つ。</p> <p>○旬の食材から季節感を感じたりおいしさを味わったりする。</p>	<p>○自分の健康に関心を持ち、様々な食べ物を進んで食べる。</p>
長時間保育	<p>○長時間保育を楽しみにしている子どもがいる一方で、そうでない子どももいる時期なので一人ひとりの気持ちに寄り添っていく。</p> <p>○異年齢児交流を図りながら、家庭的な雰囲気の中でゆったりした時間を過ごせるようにする。</p>	<p>○水遊び活動や気温の上昇によって体力を消耗しやすい時期なので、夕方は室内でゆっくりと過ごすことができるような遊具や場を用意する。</p>	<p>○夏の疲れが出たり、運動量が増えたりするので休息が十分に取れるようにする。また、落ち着いて過ごせる時間や場を構成し、ゆったりと過ごせるようにする。</p> <p>○夕方は日中との気温差に配慮しながら戸外に出て、秋の自然を感じられるようにしていく。</p>	<p>○日没が早くなるので室内の遊びを充実させ、安心してゆったりと遊べるようにしていく。</p> <p>○感染症が流行して体調を崩しやすい時期なので、子どもの健康状態を職員間で細やかに連絡し合い、健康に気持ちよく過ごせるよう配慮する。</p>
年齢別研修				
自己評価				

令和7年度

5歳児

年間指導計画

南保育園

			園長		副園長		担任	
年間目標	○健康な生活リズムを身に付け、友達と体を十分に動かし心地よさや楽しさを味わい進んで運動する。 ○友達と一緒に園生活を十分に楽しみ意欲的に遊び生活に取り組みと共に、主体的に行動して充実感を味わう。 ○クラスの友達との関わりを通して社会における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。 ○生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現すると共に伝わる喜びや伝え合う心地良さを味わう。 ○自然や身近な事象に好奇心や探究心を持ち、生活に取り入れて行く。 ○様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わう。		幼児期の終わりでまでに育てほしい姿10項目		ア)健康な心と体　イ)自立心　ウ)協同性　エ)道徳性・規範意識芽生え　オ)社会生活との関わり　カ)思考力の芽生え　キ)自然との関わり・生命尊重　ク)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　ケ)言葉による伝え合い　コ)豊かな感性と表現			
小学校との連携（小学校教育との接続）	○近隣の小学校との連絡を取り、校庭や学校施設を利用するなど、交流のきっかけをつくる。 ○子どもの姿を共有するなど小学校との連携を図り、円滑な接続を図るよう努める。 ○初めて就学を迎える保護者の不安が少なくなるよう小学校と連携し、保護者に知らせる機会を持つ。		健康安全災害	○生活リズムを整えて行くことや、自立に向け認め励まし、健全な体を作っていく大切さを知らせて行く。 ○災害・緊急時の連絡方法や避難場所を確認する。 ○園内の安全な場所・危険な場所が分かるよう伝えて行く。 ○自分の目で見て、考え、自分で判断して行動できるよう生活のあらゆる場面でその都度伝えて行く。		一年間の保育に対する自己評価		
期	1期（4月～5月）		2期（6月～8月）		3期（9月～12月）		4期（1月～3月）	
子どもの姿	○年長児になったことの喜びや期待が見られ、気の合う友だちと一緒に遊ぼうとする。中には緊張感や不安感を持つ子もいる。 ○戸外遊びを好み、進んで体を動かし、友達と一緒に心地よさや楽しさを味わう。 ○新しい環境や身近な環境に進んで関わろうとする。 ○身近な自然や動植物に親しむ。 ○自分から年下の子どもに関わろうとする。		○遊びや生活の中で、自分から進んでやってみようとする意気込みが見られる。 ○気の合う友だちと遊びを進めようとする気持ちが強くなるが、互いに主張がぶつかったり、考えが伝わらなかったりすることもある。 ○相手の思いや考えに気づきながらも自己主張する姿がある。 ○身の回りの自然現象や事物に対して興味や関心が高まり、友達と一緒に良く見たり考えたりする。		○力いっぱい体を動かすことを好み、自分なりの目的を持って頑張ろうとする気持ちが高まっている。 ○みんなで一つの目的を持って何かをやり遂げようとする姿が見られる。 ○生活経験が広がると共に友だち同士の会話が盛んになり言葉の表現が豊かになる。 ○遊びの内容が豊かになり、また、友達の思いや考えを受け入れようとする姿がある。 ○様々なことに積極的に関わろうとする姿が多くなる。		○生活や活動に見通しを持って自立的に行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。 ○身近な自然現象や社会事象に対する関心が高まり、積極的に関わるようになる。 ○言葉による伝え合いを楽しむようになる。 ○遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心を持つようになる。	
ねらい	○新しい環境に慣れ、保育者や友達と一緒に生活する楽しさを味わう。 ○年長児としての意識を持ち、友達との遊びや生活を楽しむ。 ○身近な自然に関わり、美しさや季節の変化に興味を持つ。		○自分の力を十分に発揮して運動や遊びに取り組む。 ○友達とのつながりを深め、互いの思いを伝え合いながら遊びを進める楽しさを味わう。 ○夏の自然や様々な環境に触れ合いながら遊びに取り入れ、試したり考えたり工夫したりして楽しむ。		○戸外で体を十分に動かし、友達と一緒にルールを守って遊びや生活を進める楽しさを味わう。 ○身近な秋の自然や事象を見たり触れたり考えたりする。 ○遊びや生活の中で友達と共通の目的を持ち、工夫しながら活動に取り組むことを楽しむ。 ○友達の気持ちを理解し共感したり振り返ったりする。		○それぞれが自分らしさを大切にしながら自信を持って行動し、協力して遊びや生活を進めて行く充実感を味わう。 ○身近な生活に必要な事物や自然事象に関心を持ち、興味を持って関わったり、考えたりして、生活を広げて行く。 ○友達といろいろな活動に楽しんで取り組みながら、自分の思いや感じたことを言葉で伝えあうなど豊かに表現し合い、互いの成長を喜び認める。	
養護（生命の保持・情緒の安定）	○年長組になった喜びと不安に揺れ動く気持ちを見守りながら、甘えを受け止め、落ち着いて生活できるよう一人一人に丁寧に関わっていく。 ○職員同士円滑なコミュニケーションを取り合い、安心して生活が送れるようにする。 ○安心、安全、安定に支えられた園生活を基盤に年長児として自分で考え判断して行動できるよう、友達と話し合いが出来る機会を大切にする。		○友達とのつながりを深めるために保育者も仲間に加わったりアイデアを提供したりするなど、相手の気持ちを感じとることが出来るように援助する。 ○一人一人の発達や生活を見通して言葉がけをしたり、アドバイスしたりしながら、用具や道具を安全に使えるようにする。 ○自分の健康や体について関心を持ち、食べ物、運動、生活リズムの大切ななどに子ども自身が気づいて理解していくようにする。 ○気温や湿度が高いので、水分補給に十分心がけ、熱中症の予防に配慮する。 ○一人一人の休息の取り方に柔軟に対応し、子ども自身で自分の体調の変化に気づく大切さを知らせ、夏を健康に過ごせるようにする。		○子ども一人一人の成長の様子を見逃さず、安定して心地よく過ごせるようにしていく。 ○活動意欲の高まりと共に生じる競争心や達成感を認め、自信が持てるようにする。 ○日々の様々な出来事について一人一人の気持ちに寄り添いながら、場面や機会を捉えて周囲の仲間に伝えたり、クラスで考えたりする。 ○友達の良さや自分の良さに気づき、互いに認め合えるように援助していく。 ○自分たちで考えて進めて行く活動を通して自己を発揮したり気持ちをコントロールしたりできるように、トラブルなどの機会を生かして援助する。		○クラスの中で一人一人の良さを認め合い、子ども同士のつながりがさらに深まるような援助をする。 ○卒園までの時間を大切にし園生活を振り返り、仲間という楽しさや友達と過ごす心地よさを子どもたちと共に味わう。 ○一人一人が園生活を通じて培われた力や、自信・誇りを持って就学を迎えらるるようになる。 ○インフルエンザなどが流行する時期なので、保育時間や保護者との連携を密にして、一人一人の体調の変化に留意する。 ○異常時の訓練を通してその大切さを知らせ、子どもとの約束を確認しながら、落ち着いて行動できるようにする。	
教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	○園生活での決まりを確認し、進んで守る。安全に気を付けて遊具や道具を正しく使う。 ○友達と一緒にいろいろな運動遊びを力いっぱい楽しむ。 ○友達と積極的に関わる中で、異なる思いや考えに気づく。 ○生活の中で必要なことに気づいて自分からしようとする。 ○人の役に立つうれしさを味わう。 ○自然物を取り入れて遊ぶことを通して、自分から気づいたり		○進んで戸外に出たり、水遊びを楽しんだりすると共に、適切な休息の取り方に気づく。 ○自分から気づいて汗の始末や衣服の調節をする。 ○自分の体に関心を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ○十分に体を動かして色々な運動に興味を持ち、ルールを守って遊ぶ。 ○遊びの中で自分の思いを伝え、相手の気持ちや考えを聞いて		○園生活の流れが分かり大まかな見通しを持って行動する。 ○自分なりの目的に向かって力を出し、競い合ったり応援したりして全身を動かして遊ぶ満足感を味わう。 ○遊びの進め方など友達と話し合い、協力したりルールを守ったりして遊びに取り組む。 ○友達と一緒に遊びや生活を進める楽しさを知る。 ○身近な動植物に関わり、遊んだり観察したり調べたりして興味を持って親しむ。		○園生活を通して自分で考えながら場面に応じた行動が出来る。 ○戸外で十分に体を動かし、友達と一緒にいろいろな運動遊びに取り組み、多様な動きを楽しむ。 ○風邪やインフルエンザを予防する意識を持って、手洗い・うがいを進んで行う。 ○友達と共通の目的に向かって、自分たちで役割を分担したりルールを決めたりしながら主体的に生活や遊びを進める。 ○トラブルや困ったことを自分たちで解決していくこととする。 ○園の生活に見通しを持ち、時間を意識して行動する。 ○地域の公園や図書館での過ごし方が分かり、公共のルールやマナーを守る。 ○自分の成長を感じ、入学への喜びや期待を膨らませ、意欲的に	

	<p>発見を楽しんだりする。</p> <p>○生活に必要なものを数えたり、比べたり、合わせたりする。</p> <p>○保育者や友達の話に注意して聞き内容を理解しようとする。</p> <p>○自分の気持ちを相手に分かるように言葉で伝える。</p> <p>○感じたことを自由に描く、作るなどして表現を楽しむ。</p>	<p>わかろうとする。</p> <p>○生活に必要な決まりを自分たちで考え、理解して行動する。</p> <p>○栽培物の生長に関心を持ち、変化を楽しむ。</p> <p>○友達の考えを聞き理解しながら自分なりに考えを生み出す。</p> <p>○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わいながら興味を持って聞く。</p>	<p>○生活や遊びの中で数量や図形に関心を持ち、数えたり競ったり見通しを持ったりする。</p> <p>○友達と一緒に考えたことを遊びの中で実現したり言葉で表現したりする楽しさを味わう。</p> <p>○絵本や物語、経験したことから、想像を豊かに膨らませ、動きや言葉などで表現したり遊びに取り入れたりする。</p>	<p>生活する。</p> <p>○冬の身近な事象に関心を持ち、それを取り入れて遊んだり、物の性質や仕組み、変化に気づいたり思いを巡らせたりする。</p> <p>○考えたことや感じたことを相手に分かるように話したり、相手の話を聞いて受け入れたりし、言葉による伝え合いを楽しむ。</p> <p>○簡単な標識や文字、数、図形などに関心を持ち、考えたり、日常生活に取り入れて使ったりする。</p> <p>○生活を共にしてきた友達や年下のこどもや身近な人々と心を通わせ、大きくなった喜びを味わい、感謝の気持ちを持つ。</p>
<p>環境構成</p> <p>援助</p> <p>配慮</p>	<p>○子どもたちと共に生活の場を作っていくことを大切にし、その過程を通して年長組になった実感が持てるようにしていく。</p> <p>○のびのびと安定した気持ちで生活が出来るように経験のつながり、一日のめりはりや活動の流れに沿ってゆとりのある時間や場を構成していく。</p> <p>○張り切って何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認めながら、年下の子と関わることが出来る機会を計画的に作っていく。</p> <p>○友達と一緒に体を動かしたり、戸外で十分に活動できるように環境を整える。</p>	<p>○気候に応じて、子どもの健康に配慮した一日の生活や戸外遊びが行えるように環境の構成を工夫する。</p> <p>○身近な自然物と触れ合う中で、自分たちの興味や疑問を追究したり、継続して成長を見守ったりすることが出来る環境を構成する。また、小動物の世話など、生命の大切さにつながる様々な体験が出来る機会を作る。</p> <p>○友達とつながりを深めるために保育者も仲間に加わったりアイデアを提供したりするなど、相手の気持ちを感じることが出来るように援助する。</p> <p>○自分の健康や体について関心を持ち、食べ物、運動、生活リズムの大切さなどに子ども自身が気づいて理解していくようにする。</p> <p>○気温や湿度が高いので、室温や通風に注意し、水分補給に十分に心がけ、熱中症の予防に配慮する。</p>	<p>○興味や活動意欲の高まりを受け止めて、十分に活動できる広い場を確保する。</p> <p>○固定遊具などは、日々安全点検し、扱い方を正しく指導して、安全に配慮する。</p> <p>○体の様々な動きが体験できる活動が生まれるよう援助する。</p> <p>○一人一人の多様な取り組み方を受け止め、知的好奇心や探究心を持って関わられるように様々な素材を用意する。</p> <p>○グループ活動を継続して行えるように、活動の場を保障する。</p> <p>○子どもたちが相談したり協力したりできるよう、十分な時間を確保し、見通しを持って生活が出来るようにする。</p>	<p>○友達やクラス全体で、創作や表現を楽しめるような活動を取り上げ、協働する楽しさや充実感を味わえるようにする。</p> <p>○自然と触れ合うチャンスを大切にし、発見したり試行錯誤したりする楽しさを十分に味わえるように環境を工夫する。</p> <p>○年長児として自分たちが誇りに思っている役割を、年中児に分かるように伝える。</p> <p>○小学校生活への移行を意識して、場や時間に即した行動が出来るように一西の生活の流れを自分なりに作っていく。</p>

期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）	3 期（9 月～1 2 月）	4 期（1 月～3 月）
<p>子育て支援</p> <p>（保護者支援）</p>	<p>○年長組になって意欲的に生活する姿を知らせ、子どもの成長に期待や見通しが持てるようにしていく。</p> <p>○家庭の様子を聞いたり、園での姿を伝えたりしながら、一人ひとりの保護者との信頼関係を築いていく。</p> <p>○保育参加などを通して保護者との関係をを築いていく。</p>	<p>○保護者が子供の成長を感じられるように園便りや写真などで子どもの楽しんでいる様子を伝えて行く。</p> <p>○子どもが試行錯誤しながら育っていく様子を伝え、あたたかく見守りながら励ますことの大切さを理解してもらおう。</p> <p>○子ども同士のトラブルや保護者の悩みを十分に受け止め、信頼関係を築いていく。</p> <p>○保育参加等で家庭での過ごし方や触れ合い方について知らせる機会を持つ。</p>	<p>○園と家庭とで情報を交換し、一人一人の成長を通して保護者との信頼関係を築く。</p> <p>○年末年始の体験を通してあいさつの仕方やマナーなどを育んでいけるよう、保護者に協力を依頼する。</p>	<p>○子ども自身に伝達する力が育まれ、生活に必要な物を自分で用意することが出来るように保護者に協力を依頼する。</p> <p>○園生活を通して経験した様々な人の関わりは、保護者や子どもにとって大切な宝であることを感じ合いながら共に卒園を祝う。</p>
<p>食育</p>	<p>○十分に体を動かして遊び、進んで食事をするを楽しむ。</p> <p>○気持ちよく食事をするためのマナーを知り、楽しい雰囲気でする。</p> <p>○今日出てくる給食の食材を見て様々な食材への興味を持つ。</p>	<p>○食べ物を大切にすることを持つ。</p> <p>○自分の体と食べ物のつながりや体の仕組みを知る。</p> <p>○食育バランスごまを使い食事バランスを知る。</p>	<p>○自分の体と食べ物に関心を持ち、食材の種類や働きを知る。</p> <p>○日中の活動の内容や体調に合わせて午睡の時間を調整していく。</p> <p>○日没が早く、気温も低くなるので、暖かく楽しい雰囲気の中で過ごせるように室内を整える。</p> <p>○友達と取り組む活動が増える時期であることを踏まえ、落ち着いた雰囲気の中で友達と遊べるよう、カードゲームやあやとりなどの遊具を用意する。</p>	<p>○食事のマナーを守り、時間の見通しを持ちながら楽しく食べる。</p> <p>○様々な食材や料理する人への感謝の気持ちを持ち、おいしく食べる。</p>
<p>長時間保育</p>	<p>○環境や人の変化に伴い、落ち着かない子どももいるため、一人ひとりの生活リズムを把握し、好きなように過ごせるよう家庭的なくつろげる空間を作る。</p> <p>○一日の疲れも出やすいため、ゆったりとした時間が過ごせるようにしていく。</p> <p>○新しい職員も含め、連携を密にして、子どもが安心して過ごせるようにする。</p>	<p>○厳しい暑さや湿気、急に涼しくなるなどの変化によって疲れも出るため、一人一人の様子を注意して見守り、静と動のバランスを考えながら一日の生活を組み立てて行く。</p> <p>○生活や環境を工夫し、一人一人が自分のペースで休息をとれるよう配慮する。</p> <p>○夏期は異年齢で生活する時間が増えるため、職員間で子どもたちの様子やアレルギーなどの配慮事項を丁寧に伝え合い、安心して過ごせるようにしていく。</p>	<p>○運動会に向けて活動量が増えることから、一人一人が自分の思うままにゆったり落ち着いて遊べる環境や休息をとれる場を用意する。</p> <p>○日中の活動の内容や体調に合わせて午睡の時間を調整していく。</p> <p>○日没が早く、気温も低くなるので、暖かく楽しい雰囲気の中で過ごせるように室内を整える。</p> <p>○友達と取り組む活動が増える時期であることを踏まえ、落ち着いた雰囲気の中で友達と遊べるよう、カードゲームやあやとりなどの遊具を用意する。</p>	<p>○少人数や一人でも、自分のやりたい遊びを落ち着いて楽しめるように場を工夫していく。</p> <p>○卒園に向けて緊張や不安を感じるが多くなるので、一人で集中して遊べるものを提案する。</p> <p>○園の様々な人との関わり遊びが機会を作る。</p> <p>○生活が身についているかどうか確認し、自立に向けて支援していく。</p> <p>○就学に向けて安心して小学校生活に移行できるよう子どもの実態に即して早寝早起きの習慣などに配慮し生活リズムを整えて行くようにする。</p>
<p>年齢別研修</p>				
<p>自己評価</p>				